

# 東京学芸大学附属特別支援学校

## 特別支援教育の開発・発信拠点

### 東京学芸大学附属特別支援学校の特色

本校は、主として知的障害のある子どもたちを対象に、生涯発達支援の観点から自立と社会参加の力を育てる教育機関です。日本を代表する教員養成大学の附属学校として、次世代の教育を牽引する役割を担っています。



### 学校の特長

- **幼稚部から高等部までの一貫した教育**  
幼少期から青年期まで、一貫した理念に基づいた教育を展開し、将来の自立に向けた堅固な土台を築きます。
- **特別支援教育をリードする実践・研究**  
豊富な知識と経験、最新の教育理論を融合させ、知的障害教育の分野において常に先駆的な実践と研究を行っています。
- **個に応じた学習・支援システム**  
「個別教育計画」を作成し、一人ひとりの独自の教育的ニーズと個性を尊重しながら最大の学習成果を引き出します。
- **多様な学びを支える自然環境・学習環境**  
広大で自然豊かなキャンパスを有し、体験を通して学ぶための施設・設備が充実しています。
- **卒業後の生活をサポートする「若竹会」**  
在学中だけでなく、卒業後も生徒たちの将来を支える同窓会組織が存在し、生涯にわたる継続的なサポートを提供しています。



1. 幼稚部から高等部までの一貫した教育



2. 特別支援教育をリードする実践・研究



3. 個に応じた学習・支援システム



4. 多様な学びを支える自然環境・学習環境



5. 卒業後の生活をサポートする「若竹会」

本校の様子や研究概要については、ホームページをご覧ください。  
お問い合わせにつきましては、以下までお願いいたします。



## 東京学芸大学附属特別支援学校

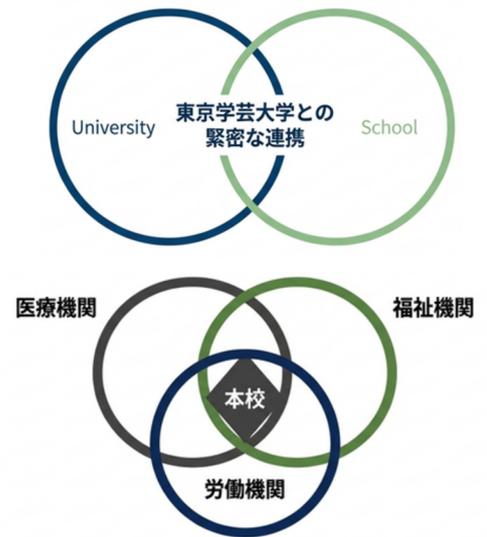
203-0004 東京都東久留米市氷川台1-6-1 TEL:042-471-5274 FAX:042-471-5275

東京学芸大学附属特別支援学校

検索

## これからの特別支援教育の開発・発信拠点としての役割

- **大学との強力な連携による最先端の研究・開発**  
東京学芸大学と緊密に連携し、新たな指導法やカリキュラムの共同研究・開発を常に行っています。
- **全国の教育を支える専門人材の育成**  
実践・研究・教育実習の場を提供し、全国で活躍する高い専門性を持った教員の育成に直結しています。
- **研究成果の積極的な発信と「開かれた学校」**  
研究協議会などを通じて地域社会や学外の教育ニーズに応え、専門分野におけるハブとして機能しています。
- **多機関とのネットワーク構築を通じたモデル提示**  
医療、福祉、労働などの諸機関と包括的な連携を図り、「新しい支援モデル」を社会に発信し続けています。



## 実践を社会に発信する「研究協議会」と最新の取り組み

本校では、日々の教育実践に基づいた最新の研究成果を全国に広く還元するため、毎年「研究協議会（公開研究会）」を開催しています。

### 【最新の研究テーマ】知的障害教育における「探究的な学び」の創造

#### 「探求」から「探究」への深化

**探求  
(Quest)**



主観的・個人的な興味

「これ好き」「やってみよう」  
学びの出発点

**探究  
(Inquiry)**

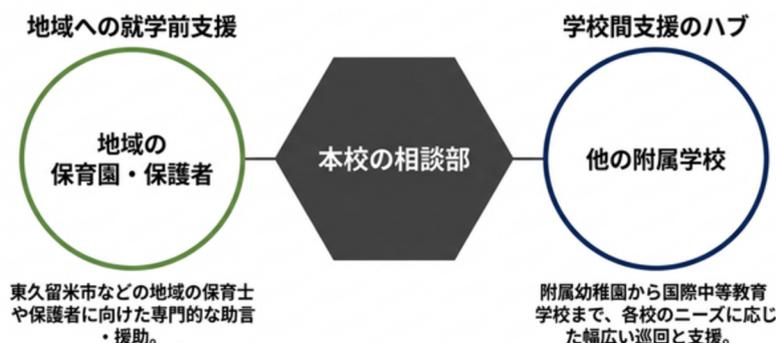


社会的・客観的・課題解決

「なぜ?」「どうすれば?」  
深い理解と社会参加

正解が一つに定まらない現代社会において、知的障害のある子どもたちにも、目の前の出来事を「自分事」として捉え、他者と協働しながら納得解を導き出す力が求められています。本校ではこれまで蓄積してきた「QOLの向上」や「言語コミュニケーション支援」などの研究成果を、「探究的な学び」という核で束ね直しました。幼児児童生徒の発達段階に応じ、個人的な興味に基づく「探求」から、社会的課題の深い理解を伴う「探究」へと発展させる縦断的な指導枠組みを設計し、実践モデルの構築に取り組んでいます。

## 地域と附属校を繋ぐ「センター的機能（相談部）」



本校の相談部は、センター的機能を担い地域の保育園や他の附属学校からの要請に応じ、専門的な助言や援助を行う「ハブ」として機能しています。大学附属校独自の貢献として、地域（東久留米市等）の保育士や保護者へ向けた就学前支援を実施しています。同時に、附属幼稚園から国際中等教育学校まで幅広く巡回し、各校のニーズに応じた学校間支援を行っています。